

平成23年度
「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」
総 会

日 時：平成24年3月29日(木)14:30～16:00

会 場：愛媛大学城北キャンパス南加記念ホール

主 催：四国地区大学教職員能力開発ネットワーク(SPOD)

配付資料一覧

- 資料 1 平成 2 3 年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業の総括について
- 資料 2 - 1 平成 2 3 年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業収支報告書（案）
- 資料 2 - 2 平成 2 3 年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業経費支出内訳（案）
- 資料 3 - 1 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約（改正案）
- 資料 3 - 2 共同事業契約書（案）
- 資料 3 - 3 平成 2 4 年度共同事業契約における役割分担等について（案）
- 資料 4 - 1 平成 2 4 年度 S P O D 事業計画（案）
- 資料 4 - 2 「調査・研究プロジェクト」設置の提案
- 資料 5 平成 2 4 年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業経費（案）
- 資料 6 - 1 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員名簿
- 資料 6 - 2 各加盟校における F D / S D 活動の取組報告
- 参考資料 1 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約



平成23年度 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」 事業総括

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会
2012.3.29

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク
企画・実施統括者 佐藤 浩章
(愛媛大学教育・学生支援機構 教育企画室 副室長)

内 容

1. SPOD事業の概要
2. SPODの運営体制
3. 平成23年度事業の総括
 - (1) 事業計画
 - (2) 各事業の取組の成果
 - (3) 事業評価
 - (4) 総括



(昨年度のネットワーク総会の模様)

1. SPOD事業の概要

SPODは、四国地区の高等教育機関が連携してネットワーク事業を展開することにより、域内のFD/SD事業の効率化、高度化、実質化を行うとともに、学生の豊かな学びと成長を支援する実践的力量をもった高等教育のプロフェッショナルを輩出し、教育の質の保証を図ることを目的に平成20年10月に設立。

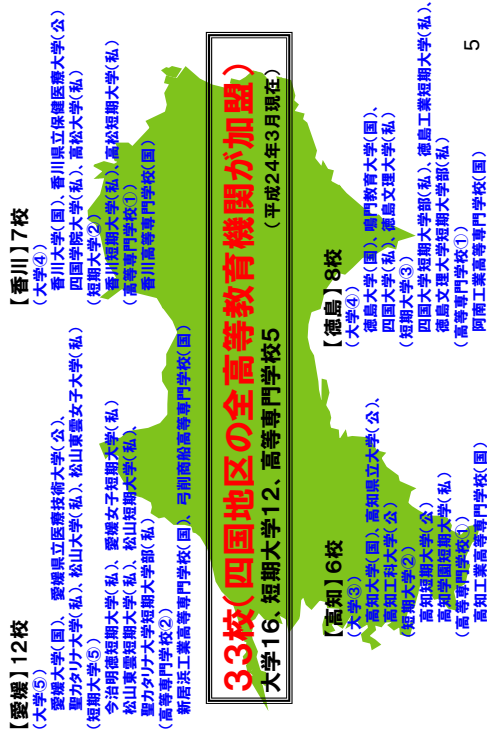
- ・四国地区の全ての高等教育機関33校が加盟
- ・地域ネットワークとして、FD・SD大学間連携のモデル
- ・平成23年度から自主運営体制により事業を継続
- ・加盟校の教職員、82プログラムに延べ2,000名以上が参加

2. SPODの運営体制

SPOD役員名簿 ※平成23年10月1日現在

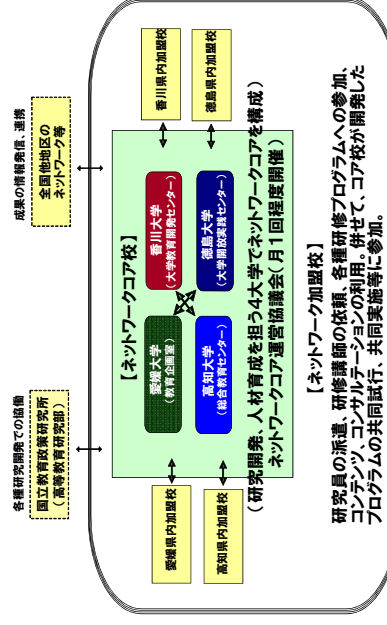
会長	柳 澤 康 信	愛媛大学 長
副会長	香 川 征 吾	徳島大学 長
副会長	長 尾 省 吾	香川大学 長
副会長	相 良 祐 輔	高知大学 長
監 事	磯 村 滋 宏	松山東雲女子大学 長
		松山東雲短期大学 長
監 事	嘉 門 雅 史	香川高等専門学校 長
企画・実施統括者	佐 藤 浩 章	
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 副室長		

加盟校



5

ネットワーク体制

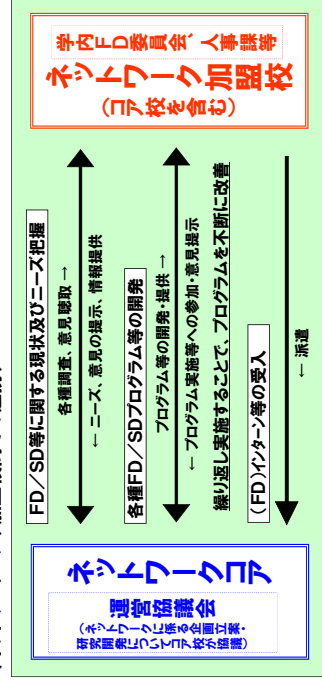


【四国地区大学教職員能力開発ネットワーク】

6

【連携内容】

(ネットワークコア、加盟校間での連携)



7

3. 平成23年度事業の総括

(1)事業計画

(計画内容)

1. FD事業
 - ・新規採用教員研修
 - ・FDファシリテーター養成研修
 - ・ティーチング・ポートフォリオ(教員業績記録)の開発
 - ・**ティーチング・ポートフォリオ更新ワークショップの実施(新規)**
 - ・各種FDプログラムの開発、実施 など
2. SD事業
 - ・講師養成プログラム、次世代リーダー養成プログラム、
高等教育トップリーダーセミナーの実施
 - ・**学務系職員養成プログラムの実施(新規)**
 - ・スタッフポートフォリオ(職員業績記録)の開発
 - ・各種SDプログラムの開発、実施 など
3. SPODプログラム
4. SPOD共通事業：SPOD内講師派遣事業の実施(新規)
5. SPOD運営

9

(2)各事業の取組の成果

(内容)

- ①ファカルティ・ディベロップ(FDer)の養成
- ②教育業績記録(ティーチング・ポートフォリオ:TP)の開発
- ③SPODにおける組織評価・効果検証の検討
- ④専門職養成プログラムの開発・実施
- ⑤SPOD内職員講師の養成
- ⑥次世代リーダー養成プログラムの実施
- ⑦SPOD-SDCの認定
- ⑧SPODフォーラムの実施
- ⑨SPOD内講師派遣プログラムの実施
- ⑩ネットワークコア運営協議会／県内加盟校会議

10

①ファカルティ・ディベロップ(FDer)の養成

FDファシリテーター養成研修

目的:各加盟校におけるFDを企画・実施できるFDリーダーの養成

実績:地域別に2回(計27名参加)開催

6月:東四国(徳島・香川)対象 10月:西四国(愛媛・高知)

事後アンケート:参加者の93%から「満足」という回答。



FDファシリテーター養成研修(東四国対象)

※平成23年6月25日～26日、国立浜野青少年交流の家

FDファシリテーター養成研修(西四国対象)

※平成23年10月8日～9日、愛媛大学 愛大ミュージ

過去3年間の参加者:計97名

※各大学等においてFD担当者の育成が進んでいる。

11

②教育業績記録(ティーチング・ポートフォリオ:TP)の開発

■ TP開発ワークショップ

メンターの養成を目的に3回実施

①西四国(愛媛・高知)FD担当者対象

【会場】愛媛大学 愛大ミュージ

②東四国(徳島・香川)FD担当者対象

【会場】徳島大学 常三島キャンパス

③高等専門学校教員対象

【会場】愛媛大学 愛大ミュージ



■ TP更新ワークショップ

TPを更新し、自らを振り返ることを目的に2回実施

①H23.8.24

【会場】愛媛大学 校友会館

※SPODフォーラム2011において開催

②H23.9.16

【会場】愛媛大学 愛大ミュージ



12

③SPODにおける組織評価・効果検証の検討

【研修ニーズアンケートの実施】

目的：SPOD加盟校教員のニーズに基づく研修プログラムの開発

対象：全加盟校の教員

回答率：回答率約36%（回答者1,724人）

結果の公表：

- ・SPODフォーラム期間中、リフレッシュルームへ展示。
- ・ネットワークコア運営協議会FD専門部会にて分析方法を検討
→愛媛大学において分析後、結果は、全加盟校に報告。
- ・学会発表。



今後、ネットワークコア運営協議会に「調査・研究プロジェクト」を設置し、組織評価及び教育効果の検証をおこなう。

ネットワークコア運営協議会FD専門部会
※平成23年12月16日(金)、愛媛大学 第4ミーティング

13

④専門職養成プログラムの開発・実施(1)

SPODが開発した以下のプログラムを新規に実施。

- ・「学務系職員養成プログラム(レベルⅠ)」
- ・SPOD-SDセミナー「社会連携系職員養成プログラム開発

■学務系職員養成プログラム(Ⅰ-1)

【日時】平成23年9月7日(水)～8日(木)
【会場】愛媛大学 【参加者】53名
【内容】学生相談入門、対学生コミュニケーション入門、キャリア支援入門、学生危機管理対応入門 など
【アンケート結果】参加者の約98%が満足と回答



学務系職員養成プログラム(愛媛大学)

■学務系職員養成プログラム(Ⅰ-2)

【日時】平成23年11月17日(木)～18日(金)
【会場】徳島大学 【参加者】28名
【内容】高等教育基礎論、入試広報入門、FD概論 など
【アンケート結果】参加者の約93%が満足と回答



学務系職員養成プログラム(徳島大学)

14

④専門職養成プログラムの開発・実施(2)

■社会連携系職員養成プログラム開発

【日時】平成24年2月17日(金)～18日(土)

【会場】愛媛県新居浜市「新居浜ホテルマックスビジョン」

【参加者】16名

【アンケート結果】「セミナーの内容があなたの仕事にとって有意義であったか」の質問に対して、参加者の約94%から「有意義であった」という回答を得ている。



15

⑤SPOD内職員講師の養成

【講師養成プログラム】

目的：研修プログラムの講師をできる職員の育成。
成果：受講者が実際に、SPODフォーラム2011、「学務系職員養成プログラム」、「大学人、社会人としての基礎力養成プログラム(レベルⅠ)」の講師を務めた。

■平成23年度講師養成プログラム

(1)第1回講師養成研修

【日時】平成23年6月1日(水)～3日(金)

【会場】愛媛大学 【参加者】12名

(2)第2回講師養成研修(プレゼンテーション入門)

【日時】平成24年2月3日(金)

【会場】愛媛大学 【参加者】17名

【アンケート結果(第1, 2回)】

満足度:100%



第2回講師養成研修
(プレゼンテーション入門)

16

⑥次世代リーダー養成プログラムの実施

実績：計16名で各4回のプログラムを実施

受講者：1期生8名、2期生8名

内容：高等教育に関する第一人者の講義を受け、多数の課題をクリアしながら、次世代のリーダーとして、大学等の運営を担うために必要な技能、知識、態度を身につけることを目指した。最終回には受講者に修了プロジェクトレポートの提出、発表及び口頭試問を課し、修了判定を実施。 ※第1期生8名のうち、**7名が修了**。

■次世代リーダー養成プログラム(計4回)

- ①第1回 H23. 6. 9～11【会場】高松テルサ(香川県)
【講師】福島一政(愛媛大学監事)ほか
- ②第2回 H23. 8. 4～6【会場】愛媛大学、聖カタリナ大学
【講師】山本真一(広島大学)ほか
- ③第3回 H23. 11. 24～26【会場】徳島大学
【講師】諸星 裕(桜美林大学)、各務 正(順天堂大学)ほか
- ④第4回 H24. 1. 19～21【会場】高知大学
【講師】秦敬治(愛媛大学)ほか



次世代リーダー養成プログラム(第2回)
平成23年8月6日 聖カタリナ大学

17

⑦SPOD-SDCの認定(SDの実践的指導者)

平成23年度、新規に加盟校から**3名の教職員を認定**

■SPOD-SDCの認定について

【会議名】第3回ネットワークコア運営協議会
【日時】平成23年7月14日(木)10時～
【会場】各コア校(遠隔会議実施)
【認定審査対象者】3名

- (1) 秦 敬治(愛媛大学教育・学生支援機構 教授)
- (2) 大竹 奈津子(愛媛大学教育・学生支援機構 特任助教)
- (3) 米澤 慎二(愛媛大学教育学生支援部 次長)

※「SPODにおけるスタッフ・ディベロップメント・コーディネーターの名称付与基準」に基づき認定

【参考】SPODにおけるSDCの名称付与基準について
SPOD-SDCの名称は、大学人、社会人としての基礎力養成プログラムの全科目を修了し、単位認定を受けた職員又はSD専門部会が同等の能力があると認めたる者

氏名	所属	認定
秦 敬治	愛媛大学教育・学生支援機構	認定
大竹 奈津子	愛媛大学教育・学生支援機構	認定
米澤 慎二	愛媛大学教育学生支援部	認定

スタッフ・ポートフォリオ
(愛媛大学 米澤 慎二)

18

⑧ SPODフォーラムの実施

・スキルアップにつながる実践的なプログラムを集中的に提供
・大学等の教職員の能力開発に役立つ多種多様なFD/SDプログラム及び組織を超えた意義ある相互交流・関係づくりの場を提供。

■SPODフォーラム2011

- 【日時】平成23年8月23日(火)～26日(金)
【会場】愛媛大学城北キャンパス
【参加者】**525名(延べ1,280名)※うちSPOD外:116名**
【プログラム数】407プログラム
【アンケート結果】

参加者の約**96%**が「有意義または満足」と回答。

○新規プログラム

- ・医療系プログラム「臨床現場における実習評価とフィードバック」
- ・高専系プログラム「高専における学生サポートをどうするのか？」
- ・ラウンドテーブル(教員の能力開発、学生支援など5トピックス) など

★SPODフォーラム2012は徳島大学で開催決定★

【日時】H24.8.22～8.24 【会場】徳島大学常三島キャンパス



何が学生の学びを促進するのか？
～医療系プログラム「臨床現場における実習評価とフィードバック」の事例から～

19

⑨SPOD内講師派遣プログラムの実施

加盟校がSPODに加盟するメリットとして、加盟校単位で希望するプログラムを、SPODから研修講師を年1回無料で派遣。
※初年度はコア校の講師11名を23機関に派遣。

■平成23年度SPOD内講師派遣実績

- 【派遣機関】23機関 【派遣講師】11名
【受講者数】654名(うち学外44名)
【アンケート結果】※19機関に実施
参加者の約**94%**が「全体的に満足」と回答。



様々な授業改善の技法

※平成23年9月7日、高知国立大学、高知短期大学

【本事業実施による成果】

- ・小規模校においても、質の高い研修プログラムの受講が可能となり、学内で教育改革や自らの能力開発に取り組む状況が生まれてきた。
 - ・加盟校からの意見・要望を含め、FD/SDに関する情報共有も行われるようになった。
- ※派遣した**全機関から本事業の継続希望**があった。

20

⑨SPOD内講師派遣プログラムの実施

SPOD内講師派遣プログラム実施状況一覧

項目	プログラム名	実施校	所属	実施年度	実施校数	実施人数
① 1月	県立高校の先生	県立高校の先生	県立高校	27	27	27
	県立高校の先生	県立高校の先生	県立高校	27	27	27
	県立高校の先生	県立高校の先生	県立高校	27	27	27
	県立高校の先生	県立高校の先生	県立高校	27	27	27
	県立高校の先生	県立高校の先生	県立高校	27	27	27
	県立高校の先生	県立高校の先生	県立高校	27	27	27
	県立高校の先生	県立高校の先生	県立高校	27	27	27
	県立高校の先生	県立高校の先生	県立高校	27	27	27
	県立高校の先生	県立高校の先生	県立高校	27	27	27
	県立高校の先生	県立高校の先生	県立高校	27	27	27
② 2月	県立高校の先生	県立高校の先生	県立高校	27	27	27
	県立高校の先生	県立高校の先生	県立高校	27	27	27
	県立高校の先生	県立高校の先生	県立高校	27	27	27
	県立高校の先生	県立高校の先生	県立高校	27	27	27
	県立高校の先生	県立高校の先生	県立高校	27	27	27
	県立高校の先生	県立高校の先生	県立高校	27	27	27
	県立高校の先生	県立高校の先生	県立高校	27	27	27
	県立高校の先生	県立高校の先生	県立高校	27	27	27
	県立高校の先生	県立高校の先生	県立高校	27	27	27
	県立高校の先生	県立高校の先生	県立高校	27	27	27
③ 3月	県立高校の先生	県立高校の先生	県立高校	27	27	27
	県立高校の先生	県立高校の先生	県立高校	27	27	27
	県立高校の先生	県立高校の先生	県立高校	27	27	27
	県立高校の先生	県立高校の先生	県立高校	27	27	27
	県立高校の先生	県立高校の先生	県立高校	27	27	27
	県立高校の先生	県立高校の先生	県立高校	27	27	27
	県立高校の先生	県立高校の先生	県立高校	27	27	27
	県立高校の先生	県立高校の先生	県立高校	27	27	27
	県立高校の先生	県立高校の先生	県立高校	27	27	27
	県立高校の先生	県立高校の先生	県立高校	27	27	27

(3)事業評価

(内容)

①SPOD事業評価委員会

②SPODに対する文部科学省等の評価

③SPODの取組への外部からの評価

⑩ネットワークコア運営協議会／県内加盟校会議

- ・ネットワークコア校が月1回程度、事業の実施、運営上の諸課題等について協議。
- ・ネットワークコア校は、ネットワークコア運営協議会の報告や各県内の加盟校のニーズ聴取を目的とした県内加盟校会議を開催。



【平成23年度開催実績】

■ ネットワークコア運営協議会：9回開催
(うち、6回は遠隔講義システムを利用)

■ 県内加盟校会議

※徳島県内加盟校会議3回
愛媛県内加盟校会議2回



① SPOD事業評価委員会

外部有識者3名を含む委員会が、SPODが作成した活動報告書をもとに書面により事業評価。その評価結果をもとに事業を改善。

【委員会委員(2011年度)】

小田 隆治 山形大学高等教育研究企画センター 教授
各務 正 順天堂大学総務局企画調整室 部長
佐藤 浩章 愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 副室長 准教授
塩崎 俊彦 高知大学総合教育センター長、教授
夏目 達也 名古屋大学高等教育研究センター 教授

(敬称略 五十音順)



平成23年度SPOD事業評価委員からのコメント(1)

1. 全体的な本事業へのコメント

- ・補助金終了後も、加盟校が1校も抜けることなく、事業費を負担しながら、誠実に事業を継続しているという印象を受ける。
- ・各加盟校が、各校の個性の上で、SPODを上手く利用しながら、自校のFD/SD活動を推進しており、評価できる。
- ・講師派遣事業は、プログラムタイトル等を見ても個性的で面白い。各校のニーズに対応しながらも、各派遣先で新しい目を開かせていくことができる取組と思え、今後、この取組が本事業の強みとなっていくのではないかと。

25

平成23年度SPOD事業評価委員からのコメント(2)

2. 指摘事項

- ・アンケート結果には、現場ニーズと提供プログラムの内容が合っているのか疑問に思う研修がある。参加者募集の際の説明の仕方を工夫するなど、入口で上手くニーズを合わせる必要があるのではないかと。

3. 今後の提案事項

- ・SPOD内はもとより、外部にも積極的に成果や成功事例を公表すべき。
例1) SPODニュースを年に4回程度発刊する。
→ コア校4校の持ち回りもしくは紙面分担をして職員が制作。
例2) フォーラム中に、100人規模の大人数によるポスターセッションを実施する。
- ・各加盟校の現状把握及びニーズ調査のために、トップ(学長)へのインタビューやアンケートを実施してはどうか。

26

②SPODに対する文部科学省等の評価

SPODは、**大学連携の先進的な取組**として、その成果が広く紹介され、**高く評価**されている。

国公立大学を通じた大学教育改革支援プログラムにおける成果
中央教育審議会 大学分科会 大学行財政部会(第4回)参考資料
文部科学時報(平成22年3月号)「進む大学教育改革」
文部科学省大学改革GPナビ第83号
「GP選定取組の実施状況レポート」

③SPODの取組への外部からの評価

SPODの成果は、**全国的にも注目**されており、大学教
育学会や大学行政管理学会における成果発表において
も高い評価を受けている。その他の機関からも先進的な
取組事例として発表依頼を多数いただいている。

27

(4) 総括

① FD...計画どおり順調に進展

(課題)

- 小規模校(短期大学、高等専門学校)
のニーズを反映したプログラムの開発
- 専門分野別のFDプログラムの開発
- 研修プログラムへの教員参加を促す
ための周知方法

28

② SD...計画どおり順調に進展 (課題)

- 開発したプログラムを実施するための
SPOD内講師の養成
- SDプログラムの新規開発、実施

29

③ ネットワーク体制...計画どおり順調に進展 (課題)

- 県内加盟校会議の実施
- 遠隔会議システムのさらなる活用
- SPODホームページなどによる、広報活動のさらなる充実

④ その他(全体共通) (課題)

- SPODにおける取組の効果検証

30

加盟校の連携により、様々な成果を上げることができました。
御礼申し上げます。
平成24年度も引き続き、SPOD事業に対して、ご協力をよろしくお願いいたします。



四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約 (改正案)

〔平成 20 年 10 月 18 日
制 定〕

(名称)

第1条 本会は、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education。以下「SPOD」という。）と称する。

(目的)

第2条 SPODは、四国地区の大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）の連携・協働により、地区内のFD／SD事業の推進と大学等の教育力の向上を図ることを目的とする。

(事業)

第3条 SPODは、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) FD／SDプログラム等の調査研究及び開発
- (2) FD／SDプログラム等の共同実施及び共同利用
- (3) FDe r（ファカルティー・ディベロッパー）及びSDC（スタッフ・ディベロップメント・コーディネーター）の養成
- (4) 参加大学等間における職員派遣等による交流
- (5) その他SPODの目的を達成するために必要な活動

(加盟校)

第4条 SPODは、別表第1に定める加盟校をもって構成する。

2 四国地区の大学等で、SPODの目的及び事業に賛同するものは、新たにSPOD加盟校となることができる。ただし、その大学等の所在する県のコア校の承認を得なければならない。

3 SPODを退会する場合には、会長の承認を得なければならない。ただし、原則として退会する3ヶ月前までに会長に申し出るものとする。

(コア校)

第5条 加盟校のうち、別表第2に定める大学をコア校とする。

2 コア校は、共同でネットワークコアを形成して、第3条各号の事業を企画立案、実施するほか、各県内の加盟校からの意見の集約及び調整等を行う。

(その他の加盟校)

第6条 加盟校のうち、前条のコア校以外の大学等は、ネットワークコアの依頼に応じて、第3条各号の事業に参加する。

(代表校)

第7条 コア校のうち、1校をSPODの代表校とする。

- 2 代表校は、コア校の互選により選出する。
- 3 代表校の任期は2年とし、再任を妨げない。

(会長、副会長、監事及び企画・実施統括者)

第8条 SPODに、会長（1名）、副会長（3名）、監事（2名）及び企画・実施統括者（1名）を置く。

- 2 会長及び企画・実施統括者は、代表校から選出する。
- 3 副会長は、代表校を除くコア校から選出する。
- 4 監事は、コア校を除く加盟校から選出する。
- 5 会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 6 会長は、SPODを代表する。
- 7 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。
- 8 監事は、会計を監査する。
- 9 企画・実施統括者は、SPOD活動に係る企画及び実施を統括する。
- 10 補欠による会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、前任者の残任期間とする。
(総会)

第9条 SPODに、総会を置く。

- 2 総会は、加盟校をもって構成し、代表校が招集する。
- 3 総会の議長は、会長が務める。
- 4 議長に事故があるときは、議長があらかじめ指名する者がその職務を代行する。
- 5 加盟校は、当該加盟校を代表して総会に出席する者1名(以下「代表者」という。)を、事前に登録しなければならない。ただし、加盟校に所属する他の者が、事前に登録した者を代理し、又は総会に陪席することを妨げない。
- 6 総会は、次の事項を審議する。
 - (1) SPOD事業契約の役割分担に関すること。
 - (2 ~~4~~) SPODの活動方針及び活動報告に関すること。
 - (3 ~~2~~) SPODの規約に関すること。ただし、別表を除く。
 - (4 ~~2~~) 会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の選出に関すること。
 - (5 ~~4~~) SPODの予算及び決算に関すること。
 - (6 ~~5~~) その他全加盟校による審議が望ましい事項
- 7 総会は、加盟校の過半数が出席しなければ、開会することができない。ただし、加盟校は、審議事項があらかじめ決定している場合においては、事前の意見提出をもって出席に代えることができる。
- 8 総会の議事は、出席の加盟校の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(ネットワークコア運営協議会)

第10条 SPODに、ネットワークコア運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

- 2 協議会は、コア校をもって構成し、原則として月1回開催する。
- 3 協議会の議長は、企画・実施統括者が務める。
- 4 議長に事故があるときは、議長があらかじめ指名する者がその職務を代行する。
- 5 協議会は、次の事項を協議する。
 - (1) SPODの活動に係る企画立案及び実施に関すること。
 - (2) SPODの行う研究開発、人材育成等に関すること。
 - (3) その他SPODに係る重要な事項
- 6 協議会における協議概要及び配付資料は、原則として加盟校に配付する。

(事業評価委員会)

第11条 SPODに、事業評価委員会(以下、「委員会」という。)を置く。

- 2 委員会は、協議会が作成した実績報告書を基に事業評価を行う。
- 3 委員会は、その委員の過半数をSPODの加盟校以外に所属する者により構成する。
- 4 委員会の議長は、企画・実施統括者が務める。
- 5 議長に事故があるときは、議長があらかじめ指名する者がその職務を代行する。
- 6 委員会は、第2項に定める事業評価を行った後、その結果を協議会に報告する。

(事務局)

第12条 SPODの事務局は、代表校に置き、加盟校の協力を得て運営にあたる。

(会計)

第13条 SPODの事業経費は、加盟校からのネットワーク年会費及びその他収入をもって充てる。

2 監事は年1回の監査を行う。

(その他)

第14条 本規約に定めるもののほか、SPODの運営に関し必要な事項は、総会又は協議会が別に定める。

附 則

1 この規約は、平成20年10月18日から施行する。

2 この規約の施行後、最初に任命される第7条第1項の代表校の任期は、同条第3項の規定にかかわらず、平成23年3月31日までとする。

3 別表は、新たな加盟校があった場合等に適宜改訂を行うものとする。

附 則

この規約は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成24年4月1日から施行する。

別表第 1 加盟校

徳島大学
鳴門教育大学
香川大学
愛媛大学
高知大学
香川県立保健医療大学
愛媛県立医療技術大学
高知県立大学
高知工科大学
四国大学
徳島文理大学
四国学院大学
高松大学
聖カタリナ大学
松山大学
松山東雲女子大学
高知短期大学
四国大学短期大学部
徳島工業短期大学
徳島文理大学短期大学部
香川短期大学
高松短期大学
今治明德短期大学
環太平洋大学短期大学部 愛媛女子短期大学
聖カタリナ大学短期大学部
松山東雲短期大学
松山短期大学
高知学園短期大学
阿南工業高等専門学校
香川高等専門学校
新居浜工業高等専門学校
弓削商船高等専門学校
高知工業高等専門学校

別表第 2 コア校

徳島大学
香川大学
愛媛大学
高知大学

平成24年度SPOD事業計画（案）

1. FD事業 ※実施内容の詳細及び研修実施時期は、「研修プログラムガイド2012」参照

- ・新規採用教員研修（年5回） 開催場所：各コア校 ※愛媛大学は2回実施
- ・FDファシリテーター（FD担当者）養成研修（年1回）
開催場所：徳島大学
- ・ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ（年3回）
①全加盟校教員対象（年2回）
開催場所：東四国－徳島大学または香川大学 西四国－愛媛大学
- ②高専対象（年1回） 開催場所：阿南高専
- ・ティーチング・ポートフォリオ更新ワークショップ（年1回）
開催場所：徳島大学 ※SPODフォーラム2012において開催
- ・教育系外部資金獲得のためのワークショップ 開催場所：愛媛大学
- ・組織開発に関する共同研究事業
- ・その他各種FDプログラムの実施 開催場所：各加盟校
研修プログラムガイド2012に掲載したプログラム
- ・FDプログラムの開発
各加盟校に対して行うニーズ調査結果をもとに検討

2. SD事業 ※実施内容の詳細及び研修実施時期は、「研修プログラムガイド2012」参照

- ・講師養成プログラム（年2回） 開催場所：愛媛大学1回，コア校1回
平成24年5月中旬・平成25年2月中旬
※主担当校：SPOD事務局 協力校：愛媛大学
- ・大学人・社会人としての基礎力養成プログラム（年3回） 開催場所：愛媛大学
レベルⅠ 1回 10月中旬
レベルⅡ 1回 9月中旬
レベルⅢ 1回 6月上旬
※主担当：SPOD事務局 協力校：愛媛大学
- ・学務系職員養成プログラム（レベルⅡ 年1回） 開催場所：愛媛大学 9月
※主担当：SPOD事務局 協力校：愛媛大学
- ・次世代リーダー養成プログラム（年8回）
平成23年度受講者対象 4回、平成24年度受講者対象 4回
開催場所：徳島県，香川県，愛媛県，高知県
第1回 6月下旬
第2回 7月下旬
第3回 11月中旬

第4回 平成25年1月下旬

※主担当：SPOD事務局 協力校：高知大学

- ・高等教育トップリーダーセミナー（年1回） 開催場所：（徳島大学）

SPODフォーラム2012で実施

※主担当：SPOD事務局 協力校：香川大学

- ・スタッフ・ポートフォリオの開発

ワークショップをSPODフォーラム2012で実施

- ・その他各種SDプログラムの実施 開催場所：各加盟校

研修プログラムガイド2012に掲載したプログラム

- ・SDプログラムの開発

各加盟校に対して行うニーズ調査結果をもとに検討

3. SPODフォーラム

- ・平成24年8月22日（水）～24日（金） 開催場所：徳島大学

※教職員能力開発拠点（愛媛大学教育企画室）と共催

4. SPOD共通事業

- ・SPOD内講師派遣（加盟校単位 各1回 計26回）

ただし、短期大学及び短期大学部が併設されている4年制大学については、あわせて

1回とする。詳細は、研修プログラムガイド2012に掲載 開催場所：各加盟校

- ・遠隔専用セミナー「SPODチャンネル（仮称）」の配信

5. SPOD運営

①総会（年1回） 平成25年3月頃

②ネットワークコア運営協議会（毎月）

③事業評価委員会（年1回） 平成25年3月頃

④監査（年1回） 平成25年3月頃

⑤その他

i. FD／SD分科会

・FD分科会（年1回） 総会と同日開催（平成25年3月頃）

・SD分科会（年1回） 総会と同日開催（平成25年3月頃）

ii. SPOD加盟校県内会議

・徳島県内（随時）

・香川県内（随時）

・愛媛県内（随時）

・高知県内（随時）

「調査・研究プロジェクト」設置の提案

2011 年 11 月

愛媛大学 教育企画室

1. 問題と目的

愛媛大学を基幹校とした「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（以下、SPOD）」は、2008 年度より文部科学省の戦略 GP の支援を受け、3 ヶ年の事業を終えた。2011 年度からは自立的な運営体制の下で事業を継続している。この間、愛媛大学、徳島大学、香川大学、高知大学の 4 校が各県のコア校として、教職員の能力開発プログラムを開発・実施し、大学の教育力向上を図ってきた。これら様々な取組の効果を検証するとともに、そうした取組の効果の一環として SPOD 加盟校における組織変容を捉えることによって、今後の SPOD の質保証・向上が可能になると思われる。これが目的の 1 つである。さらにこうした検証活動を含め、SPOD 内で継続的な調査・研究の推進を行っていくことも重要であると考え。そこで、第 2 の目的として SPOD における「調査・研究プロジェクト」の設置を提案する。

2. 実施体制

SPOD 事業においては、FD と SD の 2 本柱で人材育成を行ってきた。SPOD ネットワークコア運営協議会においても FD・SD それぞれの専門部会を置いて審議・検討を行ってきた。今回の効果検証プロジェクトや今後の調査・研究プロジェクトには、愛媛大学の教育企画室関係教職員に加え、SPOD 加盟校の教職員も自由に参加することが可能となる。

3. 「SPOD 効果検証・組織変容プロジェクト」の実施方法

検証の具体的な方法（レベル・目的・対象・方法）は以下の通りである（下表／仮案）。一般教職員から SPOD でプログラムを受講した教職員、SPOD のプログラム推進者（実施者や運営に携わるメンバー等）や当該組織で FD/SD を推進する教職員、さらには教員・職員組織の管理者ならびに機関の長を対象とする。実際には、FD/SD の現状（課題や問題点）や SPOD に対する認知度や実施による効果、組織変容（何らかの組織の新設や改組の実態やそのプロセス）といった点について、アンケートやインタビュー調査によってデータを収集する。なお、アンケートやインタビューを行う上で、SPOD の効果検証のみならず、FD/SD の効果や組織変容（組織状態の診断）を捉える指標（ルーブリック等）の開発も行う。

レベル	ミクロ	ミドル	マクロ
目的	(1)SPOD によって提供したセミナーやプログラムの効果検証 (2)SPOD における教職員のニーズ測定	SPOD による組織変容（教員の意識や授業、カリキュラム等）の効果測定	SPOD による組織変容（大学・学部・学科の組織風土や組織改組等）の効果測定
対象（教員）	(1)プログラム受講者 (2)一般教員	a.プログラム推進者 b.学部・学科の FD 担当者	管理者（学長・学部長・学科長）
対象（職員）	(1)プログラム受講者 (2)一般職員	a.プログラム推進者 b.人事課等の SD 担当者 c.教育・学生関係職員	管理者（学長・総務や教育・学生関係の管理者）
方法	(1)既に実施・蓄積している受講後のアンケート結果 (2)既に実施したニーズアンケート+ α	a.アンケート（新規） b.インタビュー（新規） c.関連するエビデンス	a.アンケート（新規） b.インタビュー（新規） c.関連するエビデンス

また、各機関の組織内における FD/SD の実施状況や成果等に関わるエビデンスがあれば適宜収集する。さらに、特に FD の効果を問う場合に学習者の視点は重要である。学生の学習の質向上等が図れているようなケース（エビデンス）があれば併せて収集する。ただし、ここは SPOD の効果として説明するには影響力が弱いと考えられるため、参考程度に止める。

4. 期待される効果

多くの高等教育機関で FD や SD の取組は進められてきているが、そうした取組の効果や組織に及ぼす影響など多面的に捉える指標や方法の開発はほとんど進んでいない。SPOD の中で開発された体系的かつ膨大なプログラムとネットワークの利点を活かして、きちんとした効果検証の方法（≡評価モデル）を構築することで、ネットワークそのものの継続的な向上（PDCA サイクル）と実践研究としての価値の創造が図られると考える。

また、今回の「調査・研究プロジェクト」は、これまでの取組（過去）の検証ということだけではなく、今現在あるいは今後加盟校において必要な課題や検討したい事項などを取り上げ、調査・研究していくということを志向している。

5. 備考

なお、本事業はメインフィールドを SPOD 内に置いているが、適宜、愛媛大学教育企画室が展開している「教職員能力開発拠点」事業とも連携しながら進めていく。

以上

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員名簿

(平成24年4月1日現在)

会 長	柳 澤 康 信	愛媛大学長
副 会 長	香 川 征	徳島大学長
副 会 長	長 尾 省 吾	香川大学長
副 会 長	脇 口 宏	高知大学長
監 事	棟 方 信 彦	松山東雲女子大学長 松山東雲短期大学長
監 事	嘉 門 雅 史	香川高等専門学校長
企画・実施統括者	佐 藤 浩 章	

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 副室長